

若葉だより

2012年4月号

〒182-0003 調布市若葉町3-1-5
TEL 03-3326-1771
FAX 03-3326-1007

新年度を迎えて

至誠ホーム調布若葉ケアセンター
センター長 河合 晴夫

寒い冬が終わり、4月に入りコブシの純白の花から芳香が漂い菜の花が広がり桜前線が上がってきました。

昨年は東日本大震災により東北地方を中心に大きな被害をもたらし、今も多くの方々が避難を強いられ放射能汚染に苦しめられています。至誠ホームでは被災地の高齢者福祉施設に職員を派遣し支援を行ないました。支援した職員の報告によりますと、支援先の施設の利用者・職員共に家が流され家族が行方不明の被災者でありながら懸命に生き抜いている方々への驚きでした。支援職員は被災者の方の苦悩や悲しみを共感しながら将来への希望を互いに共有し絆を確かなものにしてきました。

昨年は至誠ホーム開設60周年の記念の年でもありました。平成23年6月に開設60周年を記念したホーム祭り、8月末にフィンランドのヘルシンキ高齢者財団でのセミナー、11月末にはフィンランドから理学療法士のアンネさんをお招きして仙川アヴェニューホールにて至誠ホーム調布若葉ケアセンター開設記念セミナーを開催しました。平成24年1月にデイホーム、居宅介護支援事業所（介護相談センター）、地域交流スペース、グループホームを整備した至誠ホーム調布若葉ケアセンターを開設することができました。

厚生労働省による介護報酬改定に伴い平成24年4月から、デイホーム、居宅介護支援事業所（介護相談センター）、グループホームで介護報酬等が変更となりました。詳細につきましては、各事業所からご案内させていただきますがご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

統計によりますと平成24年1月の東京都一世帯当たりの平均が2人を割り1.99人になったとの事です。3月には各地で孤立死のニュースが駆け巡りました。

至誠ホーム調布若葉ケアセンターでは、今後ともお一人お一人のその人らしさを大切に信頼と絆を架け橋とした運営を行なってまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

こんにちは！！

調布若葉ケアセンターデイホームです



至誠ホーム調布若葉ケアセンター デイホーム
副主任 川上奈津美

差し込む光に緑と橙が映える活動室—調布若葉ケアセンターの「若葉でいきいき」というコンセプトを、癒しの緑と、いきいきと活動的な橙で表しています。

今年の1月4日に開設した当センターですが、利用者・ご家族の皆様のご協力を得ながら徐々に賑わいを見せています。緑と橙を基調とした活動室も、色とりどりの皆さんの作った作品が並ぶようになり、より明るいフロアになってきています。

開設以降、フラダンス・エコクラフト・カラオケなどの趣味活動や、魚釣りゲーム・風船バレーなどのレクリエーション、ご自宅でも継続して出来るような体操・リハビリなどを行ってきました。4月からは地域の方々のご協力を得ながら陶芸教室・麻雀教室も開始となり、活動の幅も広がってきています。

活動は、職員が知恵を出し合っていて考えていますが、そればかりでなく、時に利用者の皆様からヒントを頂くこともあり、多くの学びがあります。

このようなホームで皆さんがいきいきと過ごせるようなサポートをしています。新規開設ということで至らない点もあるかと思いますが、皆様のご期待に添えるよう職員一同努めてまいります。今後とも何卒宜しくお願い致します。

「調布若葉ケアセンター外観」



至誠ホーム調布若葉ケアセンターの外観です。お時間がありましたら、ご家族の皆様もご見学にいらしてください。また、裏面では活動の様子も掲載しておりますので、ご覧になってください。

活動のご紹介です

陶芸



書道



お花見



おやつ作り



共同作品



エコクラフト



おやつ作りではバナナのカップケーキを作り、皆さんでおいしく召し上がりました。お花見は喜多見ふれあい公園に出かけました。皆様桜を眺めながら春の訪れを感じておりました。共同作品の鯉のぼりは、うろこの部分は折り紙で兜を折って貼り、その他の部分は貼り絵で色を付けております。全曜日の利用者の方が関わって作成しました。その他にも陶芸やエコクラフトの個別の活動も行っております。